

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。秋の夜長、虫の音が心地よい季節となりましたが、お変わりございませんか。
名優や力士の訃報を耳にする度に悲しい思いにな

るのは私だけではないと思います。名優の映画の台詞の中に「毎年同じ事ができることが幸せなことなのよ」という言葉を聞いて感銘を受けました。誰もが毎年同じことができると思っている日常に感謝をしなければいけないと感じました。

これからの季節冷え込みが厳しくなりますのでお身体にお気をつけてください。

サンライズの物語

最期を迎える場所——

見送るご家族との幸せを想う物語



その方は末期の胃癌に罹患し保存的治療しかないと診断された方でした。病院へ訪問すると気力が低下しており、告知をされてから食欲も無くなってしまったとの事。ただただ自分の家へ帰りたいとの思いがあると奥様に話を聞き次の日に自宅へ戻ったのでした。

自宅へ戻った時のお顔の表情が病院に居る時とは別人で、笑顔も見られ大好きなビールは飲みましたか？との問いに「飲んだよ。うまかったよ」との答え。病院では食欲も全く無かったのですが家に帰るとあれが食べたいと奥様に要求していたのです。

治療方法が無くなった方にとっては自分が生まれ育った家に帰ることが安心できることであり、そして自分の最期を送る覚悟を家族と一緒に考える場所だと思っています。

自宅へ戻り9日目の朝奥様から「呼吸が止まったり動いたりしている」との知らせに「ご本人は耳は聞こえているから安心できる言葉を掛けてください」と伝えたのでした。そして夕方息子さんやお孫さん達に見守られ天国へと旅立ったのです。

お悔やみに訪問すると奥様から「自宅へ連れて帰ってよかった。最後まで家族の声を聞いていました」と涙ながらに話されておりました。

看取るという事を考えた時にその方が人生の最後に幸せだったと思えるのか、そしてご家族がこれよかったと思えるのか、大事なことだと思いました。

サンライズのデイサービス陽光だより



【相談員】西村 良江

この度、サンライズのデイサービス陽光の相談員を務めます
西村 良江と申します、よろしくお願いいたします。

以前はデイサービスに6年間務めており、介護職員を4年間、相談員を2年間
おこなっておりました。

今までの経験を活かしてご利用者ひとり一人のニーズに合ったサービス、皆
様に笑顔と安心を提供できるように頑張っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



井上から
エール！

いつも明るくユーモアがあり、ご利用者様お一人お一人に対する温かい言葉に感心
しております。西村がいると誰もが楽しくなるような素質を兼ね備えている人です。
皆さんに愛される存在なので是非会いに来て頂きたいと思います。

介護に役立つ書籍紹介

入院・介護「はじめて」ガイド

著：服部万里子／黒田尚子

どこの誰に、どのタイミングで何を聞けばいいのか。素早い対応が大切。入院・
介護の「はじめに」必要な情報にしぼり紹介します。

本書では在宅介護を行ううえで、すぐに役立つ「知っておくべき制度の利用方法
と費用」について、入院時からわかりやすく紹介します。待っているだけでは、
誰も手を差し伸べてはくれません！



NEWS 今月のニュース

お年寄りに憩いの場を 大田原の寺院で茶話会

大田原市湯津上の威徳院極楽寺
で、地域のお年寄りたちを集めて
「茶話会（さわかい）～ごくら
く」が始まった。高齢者の孤立を
防ぐための居場所づくりの取り組
みで、青龍寺弘範住職（56）が
発案。地元自治会の協力を得て実
現した。

青龍寺住職が、実家で1人暮ら
しをしている義母の話を妻から聞
き、「お年寄りが楽しく過ごせる
時間を作ろう」と考え、地元の自
治会に呼びかけた。同寺を会場に

3地区の自治会が合同で開くこと
にした。

今月4日、同寺会館で開かれた
第1回茶話会には地域の高齢者約
30人が参加。青龍寺住職が「寺
は亡くなった人のためだけではなく
生きてる人のためにもある。会
の名称『ごくらく』は『極めて楽
しむ』という意味。愚痴を言わな
いで周りに感謝してやっていきま
しょう」とあいさつ。

青龍寺住職らによる人生や健康
をテーマにした講話や、地元ボラ
ンティアグループによる健康体操、
マジックショーなどのアトラク
ションも披露された。

同市では、市内24カ所の介護
予防拠点施設「高齢者ほほえみセ
ンター」で高齢者の居場所づくり
の取り組みが進められているが、
寺院を開放して実施するのは初め
て。青龍寺住職は「今後も年に数
回、できれば月1回のペースで茶
話会を開きたい」と話している。



<産経新聞

2018年10月12日(金) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>